

2026年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月12日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <https://www.wellco-corp.com/>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）松浦昌宏
 問合せ先責任者 （役職名）取締役 （氏名）鈴木正守 TEL 076-277-9831
 半期報告書提出予定日 2026年6月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年11月1日～2026年4月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	4,688	11.3	△200	—	△181	—	467	358.4
2025年10月期中間期	4,212	△6.3	△201	—	△195	—	102	—

（注）包括利益 2026年10月期中間期 519百万円（－％） 2025年10月期中間期 △139百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	30.14	—
2025年10月期中間期	4.15	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	7,165	1,906	26.6
2025年10月期	7,924	1,417	17.9

（参考）自己資本 2026年10月期中間期 1,906百万円 2025年10月期 1,417百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2026年10月期	—	0.00	—	—	—
2026年10月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	0.2	△400	—	△380	—	30	—	1.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年10月期中間期	15,522,250株	2025年10月期	15,522,250株
2026年10月期中間期	ー株	2025年10月期	ー株
2026年10月期中間期	15,522,250株	2025年10月期中間期	24,598,110株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予測数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間（2025年11月1日～2026年4月30日）における我が国経済は、直近のGDP統計において自動車の輸出回復や個人消費の底堅さなどから2四半期連続でプラス成長を維持するなど、緩やかな回復基調が続きましたが、米国によるイラン攻撃を契機とするホルムズ海峡の閉鎖等の影響により、原油価格の高騰及び調達不安及び円安、それに伴う燃料・輸送コストの上昇及び一部石油化学製品の供給不足が懸念され、国内景気の先行きは楽観を許さない状況にあります。中東情勢の動向次第では、急激な物価の高騰、また生産資材の調達が難しくなる事態も考えられます。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、前期に取得し完全子会社化した株式会社ウェブの売上がフルに寄与したことや、ウイル・コーポレーションにおけるECサイトからのリピート受注が堅調に推移した結果、セグメント売上高は4,366百万円（前年同期比12.3%増）となりました。利益面におきましては、連結に伴う売上原価及び販売費及び一般管理費の増加に加え、円安等の影響による原材料費や電気代の高止まり、さらには激しい受注競争の中で十分な価格転嫁が進まず利益を圧迫しました。この結果、セグメント利益は3百万円（前年同期比88.7%減）となりました。下期におきましては、不採算案件の見直しなど収益性改善を最優先課題と位置付け、原材料費・人件費の高騰を踏まえ積極的に価格転嫁を行うとともに、資材の最適化や生産体制の効率化を通じてコスト抑制を図り、収益力の強化に努めてまいります。

知育事業におきましては、当中間連結会計期間は卒園・入園関連商品の需要が高まる繁忙期にあたり、幼保事業及び出版事業ともに堅調に推移したことから、セグメント売上高は414百万円（前年同期比0.2%減）となりました。利益面におきましては、在庫管理の徹底や仕入先への交渉による原価低減に努めたものの、セグメント利益は12百万円の損失（前年同期は42百万円の損失）となりました。前年同期比では損失幅が29百万円縮小するなど、黒字化に向けて改善が進んでおります。幼保部門においては、営業体制の強化を図り、高い利益率が見込める電子黒板やLED、厨房機器といった独自性の高い商品に注力して参ります。出版部門においては、夏季商戦に向けて中学校課題図書の販売拡大が見込め、市場のニーズに迅速に対応する企画力・編集力をもって売上及び利益の拡大を図ってまいります。

通信販売事業におきましては、一部の大型媒体における掲載時期のズレなどから露出機会の確保に苦戦したことや、インターネット通販における新規顧客獲得のための広告効率低下が響き、セグメント売上高は16百万円（前年同期比28.4%減）となりました。利益面におきましては、コールセンターをはじめとする受電体制の再編や業務効率の改善を進めたものの、新たな広告手法のテストに伴う費用増加や顧客獲得コストの上昇負担が重く、セグメント利益は13百万円の損失（前年同期は7百万円の損失）となりました。今後は、受電体制の一元化による応答率のさらなる向上を図るとともに、黒字化に向けて定期顧客の獲得及び継続率の向上による収益性の改善に注力してまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は4,688百万円（前年同期比11.3%増）、営業損失は200百万円（前年同期は営業損失201百万円）、経常損失は181百万円（前年同期は経常損失195百万円）となりましたが、昨年閉鎖した関東工場の土地建物の売却益823百万円、多古町の寮の減損損失88百万円の特別損益があり、親会社株主に帰属する中間純利益は、467百万円（前年同期比358.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における総資産は7,165百万円と、前連結会計年度末に比べて758百万円減少いたしました。これは主として、受取手形及び売掛金の減少270百万円、現金及び預金の減少233百万円によるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は5,259百万円と、前連結会計年度末に比べて1,247百万円減少いたしました。これは主として、短期借入金の減少1,000百万円、長期借入金の減少206百万円によるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産は1,906百万円と、前連結会計年度末に比べて488百万円増加いたしました。これは主として、利益剰余金の増加1,224百万円、資本剰余金の減少787百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2025年12月12日に公表いたしました2026年10月通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,121	888
受取手形及び売掛金	1,411	1,140
商品及び製品	226	276
仕掛品	148	73
原材料及び貯蔵品	234	311
その他	152	147
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,294	2,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,240	1,091
機械装置及び運搬具（純額）	238	247
土地	1,778	1,599
リース資産（純額）	168	146
その他（純額）	52	63
有形固定資産合計	3,479	3,147
無形固定資産		
のれん	198	188
その他	172	162
無形固定資産合計	370	350
投資その他の資産		
投資有価証券	525	594
その他	257	237
貸倒引当金	△4	△1
投資その他の資産合計	779	830
固定資産合計	4,629	4,328
資産合計	7,924	7,165

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	554	478
電子記録債務	1,529	1,619
短期借入金	1,000	—
1年内返済予定の長期借入金	407	385
リース債務	206	204
未払金	459	487
未払法人税等	7	72
賞与引当金	30	42
工場再編損失引当金	44	35
その他	194	123
流動負債合計	4,434	3,449
固定負債		
長期借入金	572	365
リース債務	347	253
退職給付に係る負債	291	286
繰延税金負債	357	383
資産除去債務	238	239
その他	265	280
固定負債合計	2,072	1,810
負債合計	6,506	5,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,338	1,551
利益剰余金	△1,161	63
株主資本合計	1,277	1,714
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	163
退職給付に係る調整累計額	36	28
その他の包括利益累計額合計	139	191
純資産合計	1,417	1,906
負債純資産合計	7,924	7,165

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
売上高	4,212	4,688
売上原価	3,534	3,819
売上総利益	677	869
販売費及び一般管理費	878	1,070
営業損失(△)	△201	△200
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	7	5
持分法による投資利益	14	1
受取賃貸料	12	12
受取保険金	0	16
保険解約返戻金	—	9
その他	13	13
営業外収益合計	51	59
営業外費用		
支払利息	14	22
不動産賃貸原価	3	2
支払手数料	26	15
その他	1	0
営業外費用合計	45	40
経常損失(△)	△195	△181
特別利益		
固定資産売却益	5	823
投資有価証券売却益	343	—
関係会社株式売却益	—	1
特別利益合計	349	825
特別損失		
固定資産売却損	—	6
固定資産除却損	4	0
工場再編関連費用	8	—
特別調査費用等	18	—
課徴金	—	27
減損損失	—	88
特別損失合計	31	122
税金等調整前中間純利益	122	522
法人税、住民税及び事業税	15	56
法人税等調整額	5	△1
法人税等合計	20	54
中間純利益	102	467
親会社株主に帰属する中間純利益	102	467

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）
中間純利益	102	467
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△233	59
退職給付に係る調整額	△7	△7
その他の包括利益合計	△241	52
中間包括利益	△139	519
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△139	519

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	122	522
減価償却費	146	131
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△12	△11
工場再編損失引当金の増減額（△は減少）	—	△9
受取利息及び受取配当金	△9	△6
持分法による投資損益（△は益）	△14	△1
支払利息	14	22
支払手数料	26	15
課徴金	—	27
特別調査費用等	18	—
投資有価証券売却損益（△は益）	△343	—
固定資産売却損益（△は益）	△5	△817
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△1
減損損失	—	88
売上債権の増減額（△は増加）	13	270
棚卸資産の増減額（△は増加）	26	△52
仕入債務の増減額（△は減少）	△76	39
未払金の増減額（△は減少）	△93	△157
その他	85	78
小計	△103	137
利息及び配当金の受取額	10	6
利息の支払額	△14	△20
支払手数料の支払額	△15	△5
特別調査費用等の支払額	△13	—
課徴金の支払額	—	△27
法人税等の還付額	5	9
法人税等の支払額	△6	△14
営業活動によるキャッシュ・フロー	△137	86
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	500
有形固定資産の取得による支出	△108	△94
有形固定資産の売却による収入	11	1,099
有形固定資産の除却による支出	△2	△3
無形固定資産の取得による支出	△0	△6
投資有価証券の取得による支出	△404	—
投資有価証券の売却による収入	764	—
関係会社株式の売却による収入	—	21
貸付けによる支出	△50	—
その他	△10	21
投資活動によるキャッシュ・フロー	200	1,538
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△287	△229
短期借入金の返済による支出	—	△1,000
リース債務の返済による支出	△59	△83
配当金の支払額	△0	△30
割賦未払金の返済による支出	—	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△347	△1,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△285	266
現金及び現金同等物の期首残高	1,999	604
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,714	870

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	情報・印刷 事業	知育事業	通信販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,773	415	23	4,212	—	4,212
セグメント間の内部売 上高又は振替高	114	0	—	114	△114	—
計	3,888	415	23	4,326	△114	4,212
セグメント利益又は損失 (△)	28	△42	△7	△21	△179	△201

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△179百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間（自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注） 1	中間連結損益 計算書計上額 （注）2
	情報・印刷 事業	知育事業	通信販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,257	414	16	4,688	—	4,688
セグメント間の内部売上 高又は振替高	108	—	—	108	△108	—
計	4,366	414	16	4,797	△108	4,688
セグメント利益又は損失 （△）	3	△12	△13	△23	△177	△200

（注）1 セグメント利益又は損失（△）の調整額△177百万円は主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「情報・印刷事業」セグメントにおいて、固定資産の減損を計上しております。なお、当該減損損失計上額は当中間連結会計年度において88百万円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。